

深層インタラクション科学の研究開発

インタラクション科学研究所／石黒浩特別研究所／萩田紀博特別研究所

概要

深層インタラクション総合研究所では、先端研究開発を3つの研究所(インタラクション科学研究所、石黒浩特別研究所、萩田紀博特別研究所)で実施しています。ここでは、このブースで展示している各研究所の研究概要を紹介します。詳細は、このブースのポスターで紹介していますので、そちらをご参照ください。

深層インタラクション科学とは？

人やモノの相互のやりとり(働きかけとその応答)をインタラクション(相互作用)と呼びます。深層インタラクション総合研究所では、人や人々のモノやコトに対するインタラクションの数理モデルを明らかにすることで、人・人々の行動や感じ方などを説明／予測できるようにすること、それに基づいてモノ(製品、デバイス、ロボットなど)やコト(環境、サービスなど)を設計できるようにすることを目指します。

D2 人との触れ合い



人とロボットの
ソーシャルタッチインタラクション

D3 安心感を創る



安心感の創出

モラル行動認識 モラルインタラクション

モラル認知

街角環境で人と共生する
インタラクション・ロボット

D5 自然な対話



人間関係構築を支援する
日常対話アンドロイド

人とロボットのインタラクション Human-Robot-Interaction

日常対話アンドロイド Conversational Android in Daily Life

D4 行動の予測



ロボットサービスのための
人混みシミュレータ

D6 適切な振る舞い



対話ロボットにおける
「社会的表出」の基盤技術

D7 対話ロボコンペ



実証実験による対話ロボットの
身体性の有効性探索の試み

D8 運転する能力



安全で快適な運転のための
協調型運転支援

人の能力を拡張する技術 Augmented Human Interaction

D9 眼の能力



眼球運動計測のための
コンタクトレンズ

D10 歩く能力



歩行支援用パワードウェアのための
日常活動動作推定

D11 聴く能力



環境センサと融和した
聴覚支援システムの研究